

みやぎ生協・コープふくしまの食品添加物政策

みやぎ生協・コープふくしまの食品添加物自主基準は、日本生協連の安全性評価に基づくものとし、この評価が変わった場合には連動して改訂いたします。(2015年3月21日より施行)

● 独自開発商品の食品添加物基準

「独自開発商品」とは、「コープふくしまコープ商品」「めぐみ野品を原料を使用してブランド名がつくめぐみ野加工品」とします。

独自開発商品の食品添加物基準

不使用添加物 10品目

使用制限添加物 42品目

遺伝毒性発がん物質および日本生協連のリスク評価において安全性を量的に判断できる科学的根拠が確認できないものなど、安全を見込むことができない食品添加物です。法的には認められた添加物ですが、コープふくしまの開発商品では、一切使用を認めないものとします。

● 取扱商品の食品添加物基準

取扱商品の食品添加物基準

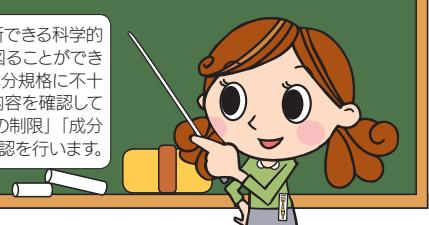
不使用添加物 10品目

使用制限添加物 42品目

不使用添加物が使用された食品(酒・医薬品を除く)は、店舗・宅配ともに、一切の取扱をしません。

宅配では、使用制限添加物が含まれる食品は極力取り扱わないこととします。これらの食品添加物が使用された商品を取り扱う場合は、理由を明確にして宅配商品部長が個別に許可します。許可した申請書は、許可後2年間保管します。また、許可された場合でも、メーカーに対しては、該当添加物は使用制限添加物であることを確認し、その制限内容を伝え、今後の開発に生かしてもらうようになります。

制限する内容を品目別に確認して、コープふくしまの開発商品に使用する食品添加物です。「安全性を量的に判断できる科学的根拠はあるが、懸念すべき問題点がある物質」のうち、使用制限することが可能で、それによりリスク低減を図ることができるものです。「懸念すべき問題点がある物質」とは、「不純物や代謝物に安全上の問題があるもの」「純度など成分規格に不十分な点があるもの」「国が評価していない新しいリスク要因が懸念されるもの」などが該当します。「制限する内容を確認して使用する」とは、物質ごとの評価に応じて、「使用できる食品の対象範囲の制限」または「使用量または残留量の制限」「成分規格の指定」(一つまたは複数の措置)を行うことをさします。新規の開発商品は日本生協連に制限する内容の確認を行います。



不使用添加物の種類

不使用添加物 (10品目)

- 臭素酸カリウム
- 食用赤色 104号
- 食用赤色 105号
- デヒドロ酢酸ナトリウム
- パラオキシ安息香酸イソブチル
- パラオキシ安息香酸イソプロピル
- パラオキシ安息香酸フチル
- パラオキシ安息香酸プロピル
- グレープフルーツ種子抽出物
- 単糖・アミノ酸複合物

使用制限添加物 (42品目) 宅配では極力取り扱わない添加物

安息香酸	チアベンダゾール	グアヤク脂	ペクチン分解物
安息香酸ナトリウム	二酸化チタン	α-グルコシルトランスクエラーゼ処理ステビア	ε-ポリリシン
イマザリル	ポリソルベート 20	酵素分解カンゾウ	マスチック
エチレンジアミン四酢酸ニナトリウム	ポリソルベート 60	酵素分解リンゴ抽出物	ラック色素
ホトトギスエーテル及びホトトギスエーテルナトリウム	ポリソルベート 65	サイリウムシードガム	L-ラムノース
過酸化ベンゾイル	ポリソルベート 80	植物炭末色素	ログウッド色素
カントキサンチン	ウエランガム	ステビア抽出物	
食用赤色 40号及びそのアルミニウムレーキ	アルミニウム	ステビア末	
食用赤色 106号	エレミ樹脂	ツヤプリシン(抽出物)	
食用黄色 4号及びそのアルミニウムレーキ	カラギナン	ファーセレラン	
食用黄色 5号及びそのアルミニウムレーキ	カンゾウ抽出物	ブドウ種子抽出物	
食用青色 2号及びそのアルミニウムレーキ	カンゾウ末	ブラジルカンゾウ抽出物	

商品事業におけるSDGsの取組み

環境配慮商品の普及拡大

みやぎ生協、コープふくしまは、持続可能な社会をめざし、低炭素、循環型、自然との共生(生物多様性)の視点で環境に配慮した「エコマーク」「MSC(海洋管理協議会)」「有機JAS」などの認証を取得している商品のほか、「めぐみ野(産直)」品、地産地消商品の普及拡大に取り組んでいます。

MSC
(持続可能な漁業のための原則と基準)



FSC
(森林管理の原則と基準)



有機JAS



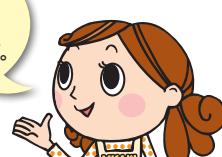
レインフォレスト・アライアンス



エコマーク



※商品パッケージのデザインが変わることがございます。



14

Weekのおすすめ商品



「安全でおいしい食品を食べたい」という
メンバー(組合員)の声から生まれ、生産者と消費者が
交流を重ねながら作られてきた商品です。

「十三漁協」所属の漁業者が漁を行っています。乱獲を防ぐために禁漁区や禁漁期を決め、
1日の漁穫は一戸当たり140kgとして全組合員が厳格に守っています。
十三湖は、上流の農協や森林組合と手を取り合いながら環境を守る
取組みを行っています。(十三漁業協同組合組合長の樋浦さん)



めぐみ野
青森県十三湖産
冷凍しじみ 200g

十三漁協が厳選した鮮度の良いしじみを砂抜きしてから冷凍しました。ミネラルたっぷりの十三湖で生まれ育った大和しじみの味と香りをお楽しみください。冷凍のまま調理できます。



コープふくしまの産消直結「めぐみ野」の三つの基準

「めぐみ野」の商品は、共通して次の三つの基準を満たしています。

①産地と生産者が
明確であること

(「誰」が「どこ」で作ったかがわかること)

②生産方法と手段が
明確であること

(「どのように」作ったかがわかること)

③メンバーと生産者の
交流がされていること

(共通の願いの実現)

ふくしま 大豆の会 とは

安全・安心・おいしいを守ります!

福島県産の大豆はしっかりととした安全体制をとっております!

食べものに含まれる放射性物質の基準は、国際的な指標に基づいて決められていますが福島県では2011年3・11以降、更なる万全を期して徹底全品検査を実施しております。ふくしま大豆の会は県産大豆今まで以上に安全でおいしくみなさまの食卓にお届けすることをお約束いたします!「作った人の顔が見え、想いやこだわりが伝える安心・安全な商品を食べたい!」そんな願いで始まった大豆の会。大豆を作る農家とそれを加工する人、そして買う人が手を取り合って、安全な福島県農産物の美味しさを広めていきます。さらに、福島県産大豆を食べることは、輸入品に比べ輸送にかかるCO2の排出を減らすことになり、地球の環境を守ることにもつながります。



ふくしま 大豆の会 利用登録件数 25,855件! (2025年1月8日現在)

みんなでフードマイレージ運動を!

地球上に
えーこと
近くでとれた大豆を
食べれば輸送中に
出る
CO2排出量が削減!

支えて
えーこと
ふくしま県産大豆を食べれば
生産者が大豆を作り続ける
パワーになります!

食べて
えーこと
毎日食べるものがだから
遺伝子組み換えないで
県産安心大豆!

豆腐1丁なら
アメリカ産大豆と比べて

輸送時のCO2排出量

69g減

2023年度
累計100トン
のCO2削減と
なりました。

古今東北 シリーズ

古今東北は2015年秋に誕生した、
東北各地で作られた選りすぐりの逸品を
ご案内するブランドです。水産品、畜肉
加工品をはじめ野菜、調味料、お菓子、
お酒など多彩なラインナップでご案内
しています。



おいしさを復興のちからに『古今東北』

「古今東北」とは、東日本大震災からの復興と東北振興への思いを
込めて、東北各地から集めた選りすぐりの商品を発信するブランドです。

本醸造醤油の香りと
野菜の旨み

古今東北
菜の花オイルの
和風ドレッシング

製造:福島

150ml

南相馬産なたねの一番搾り油と本醸造醤油で仕立てました。玉ねぎ
など野菜の旨味を活かしました。※365日 食塩相当量:1g/30kcal/15ml

（イメージ）



商品のパッケージデザインや仕様が変わることがございます。